お金のプロフェッショナル 鬼塚さんのキーワード解説つき

ライフプラン表をつくってみよう！

●成井さんファミリー
パパ 35歳
ママ 33歳
兄 4歳
妹 1歳

ライフプラン表は、家族みんなの希望を聞きながら楽しく表を埋めていきましょう。可視化することで、ライフステージやイベント、支出などが見えてきます。プラン内容はあくまで"計画"です。予定通りにならなくてもOK。そのたびに変更・修正していきましょう。

【ライフプラン表の書き方】

1 左欄に家族全員の名前を記入（お子さまが現在一人で第二子以降を予定の場合は「第一子」として表に入れる）

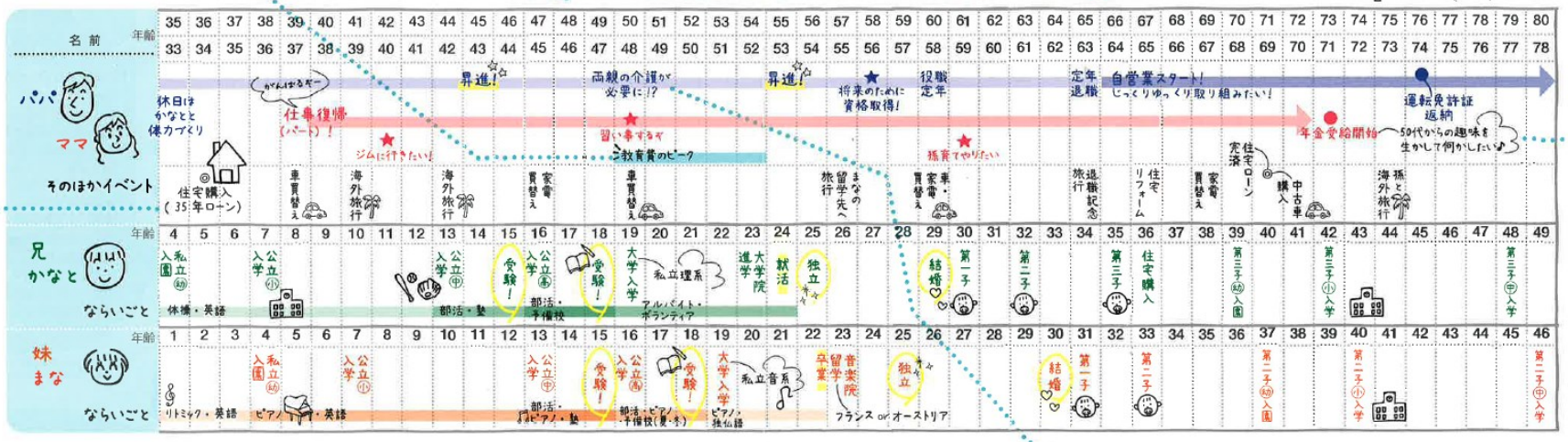
2 家族の年齢を記入

3 家族ごとの計画を埋める（将来の夢・進路など）

4 家の計画を埋める（住宅・車・家電購入や家族旅行などのレジャーについて）

4人家族の成井さん ファミリーのライフプラン表

書いた日：2018年1月1日



上手に活用したい①
百貨店友の会

百貨店友の会とは、毎月一定額を積み立てると「6ヵ月後や1年後に積み立てた金額＋ボーナス」の金券などがもらえる百貨店積み立てです。
金券が手に入るのは1年後で、その百貨店でしか使えませんが、よく利用するという人におすすめ。百貨店が倒産しない限り、確実に戻りますので信頼性の高い積み立てのひとつです。

上手に活用したい②
家計簿アプリ

スマートフォンをお持ちの方が多いと思いますが、ぜひ活用したいのが家計簿アプリ。無料でダウンロードできるうえ、カスタマイズも簡単でレシートを撮影するだけ、というものも。
グラフ化も簡単にできて節約のポイントもひと目でわかるので、忙しいママのサポートツールにぴったりです。

覚えておきたいキーワード❷
教育資金

お子さまの教育は学校だけではありません。低年齢から始められる習い事や受験のための塾・予備校、そして部活動なども教育費に含まれます。月5,000円の習い事でも年にすれば6万円。お子さま2人なら12万円です。また、大学受験のための予備校も大手平均で年間60万円超と大きな額が動きます。
お子さまの教育期間の中でも、後半10年は教育費のピークと言われます。つまり、前半10年が教育資金のため時。教育資金は今からしっかり準備しましょう。

覚えておきたいキーワード❶
住宅ローン

全国には住宅ローンを扱う100行以上の金融機関があるので、ローンを断られても諦めずに挑戦してください。現在は金利だけではなく、その他サービスを含めたトータルで検討する方が多いようです。たとえば「8大疾病と診断されたら」や「病気やケガで所定の状態になったら」などで、住宅ローン残高0円や、一部繰上返済手数料0円など、各金融機関で特徴があります。また、住宅ローンは一度契約してもぜひ見直しを。「支払額が減った」という人も多くいます。

上手に活用したい③
iDeCo（イデコ）

2017年1月から60歳未満のすべての人*が加入できるようになった「個人型確定拠出年金（iDeCo）」。銀行や信用金庫、証券会社などの運営管理機関に申し込む私的年金のひとつです。加入者自身が掛け金を拠出し、運用しながら積み立てた金額を、60歳以降から受け取れます。掛け金は毎月5,000円～。全額所得控除の対象です。

*企業型確定拠出年金の加入者は勤め先企業が規約でiDeCoへの加入を認めている場合のみ、加入可能です。

覚えておきたいキーワード❸
Wケア

晩婚・晩産化を背景に「Wケア」をする方が多くなっています。Wケアとは、お子さまが就学前の育児期に親の介護を同時に行うこと。今後さらに増えるのではないかと国も調査に乗り出し、対策を練っているところです。お子さまの教育資金も考えると、出産後にまだまだ働きたいと思っているママも多いことでしょう。さらに、ママ・パパ自身の老後資金についても考えたい年齢が40歳以降ですから、親の介護が始まる前にお金の計画はしっかり立てておきたいですね。

覚えておきたいキーワード❹
100歳人生

日本生命が厚生労働省の「平成27年簡易生命表の概況」から計算したところによると、男性の死亡数のピークは86歳、女性は92歳。平均寿命（男性80.98歳、女性87.14歳）を軽く超えています。住環境や医療の進歩などを考えると、100歳人生の到来と言われています。65歳で退職しても100歳まで残り35年の長寿時代。ライフプラン表は大まかでもいいので、健康で自立した老後を実現するためにママ・パパで少しずつ話し合い、計画を立てていきましょう。

ライフプラン表は以下よりダウンロードできます
https://happy.happy-note.com/2018sp.html